

基本方針9 地域の教育コミュニティづくりと家庭教育を支援します

資料3

【基本的方向】

- ① 学校の教育活動を支える取組みへの地域人材の参画を促すとともに、ネットワークづくりをすすめます。
- ② 多様な親学びの機会の提供を図るとともに、家庭教育に困難を抱え孤立しがちな保護者への支援を促進します。
- ③ 家庭・地域における子育て・教育力の向上を図るとともに、小学校との連携をすすめるなど、幼児教育の充実を図ります。
- ④ 共働き世帯の増加や地域のつながりの希薄化に対応し、幼稚園における保育サービスの拡大や、地域の子育て・家庭教育を支援する機能の強化を促進します。

【主な取組み】

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
①	地域全体で学校を支援する体制づくりと活動の定着・充実 (教育コミュニティづくり推進事業(学校支援地域本部) <参考資料3 P1>)	学校支援地域本部等を中心に、全中学校区で地域による学校教育を支援する活動を実施するとともに、研修会や交流会を実施し、地域での活動の核となるコーディネーターやボランティアの育成を図った。
	放課後等の子どもたちの体験活動や学習活動等の場づくり (教育コミュニティづくり推進事業(おおさか元気広場) <参考資料3 P3>)	地域のボランティアの参画を得て、388小学校区(全小学校区の約90%)で放課後や週末の子どもたちの体験活動や学習支援活動等を推進した。

第3回審議会で審議済

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 20px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="background-color: red; color: white; padding: 5px 20px; display: inline-block;">第3回審議会で審議済</p> </div>		

【指標の点検結果】 ※全国学力・学習状況調査に係る指標については、当該年度の状況が次年度の結果に反映されるため、「計画策定時の現状値」及び「実績値」には次年度の結果を記載

指標	目標値 (H29年度)	H24年度実績値 (計画策定時)	H26年度実績値	点検結果	
<p>○指標 55 学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の方が学校における教育活動や様々な活動によく参加してくれると回答している学校の割合</p>	<p>倍増をめざす ※小学校：75.0% 中学校：69.0%</p>	<p>小学校：32.5% 中学校：32.3%</p>	<p>小学校：34.5% 中学校：34.0%</p> <p style="font-size: small;">〔 H25年度実績 小学校：31.5% 中学校：29.6% 〕</p>	△	<p>いずれも計画策定時を上回った。</p>
<p>○指標 56 大人（保護者）に対する親学習の実施状況</p>	<p>全市町村（政令市を除く）での実施をめざす</p>	<p>22 市町村で実施</p>	<p>23 市町村で実施 回 [H26年度実績 26 市町村]</p>	○	<p>平成 26 年度実績は、計画策定時の実績を 10 市町村上回った。</p>

指標	目標値 (H29年度)	H24年度実績値 (計画策定時)	H26年度実績値	点検結果
○指標 57 授業で生徒に対する親学習 を実施した学校数	全ての中学校（政令市を除く）・府立高校での実施をめざす	中学校（政令市を除く）： 197/290校（67.9%） 府立高校： 135/155校（87.1%）	中学校（政令市を除く）： 281/291校（96.6%） 府立高校： 142/154校（92.2%） 〔H25年度実績 中学校（政令市を除く） 201/291校（69.1%） 府立高校： 139/154校（90.3%）〕	○ 平成26年度実績は、いずれも計画策定時の実績を上回った。
○指標 58 保幼小合同研修を実施している市町村の割合	50%をめざす (注1)	32.6% (H22年度)	H25年度実績 51.2% 5年実施 (H28年10月公表予定)	◎ (注2) 平成25年度実績は、平成23年度実績を18.6%上回り、目標に達した。
○指標 59 教育課程の編成に関し、公私立幼稚園と連携している小学校の割合	100%をめざす	93.2%	100% [H25年度実績 100%]	◎ 平成26年度実績が目標に達した。
○指標 60 子育て相談等、子育て支援事業に取り組む私立幼稚園数	府内の全私立幼稚園での実施をめざす	322園	340園 [H25年度実績 331園]	○ 平成26年度実績は、計画策定時の実績を上回った（18園増加）。

(注1) 平成25年度実績において目標（50%）を達成したため、平成27年度から新たな目標（100%）を設定。

(注2) 目標に対する平成25年度実績の進捗状況を記載。

【自己評価】

① 学校の教育活動を支える取組みへの地域人材の参画を促すとともに、ネットワークづくりをすすめます。

- 学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に「よく参加」してくれると回答している学校の割合は、小・中学校ともに増加したが、目標値に対しての増加幅は少ない。

（保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に「よく参加してくれる」及び「参加してくれる」と回答している学校の割合は、小・中学校とも8割を超え、全国平均を上回る状況にある。）

今後、目標達成に向け、地域と学校をつなぐコーディネーターの固定化・高齢化への対応や、学校支援活動に対する学校の理解をさらに深める必要があることから、新たなコーディネーターを養成するとともに、市町村の学校教育・社会教育主管課に対して個別に理解促進に努めていく。

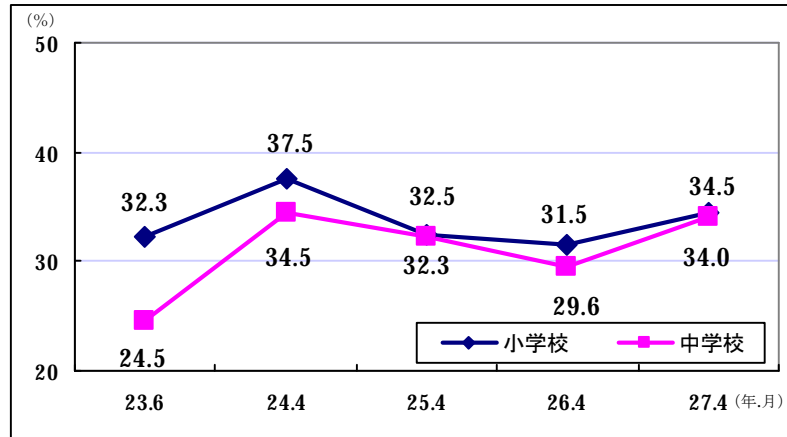
第3回審議会で審議済

【評価審議会における審議結果】



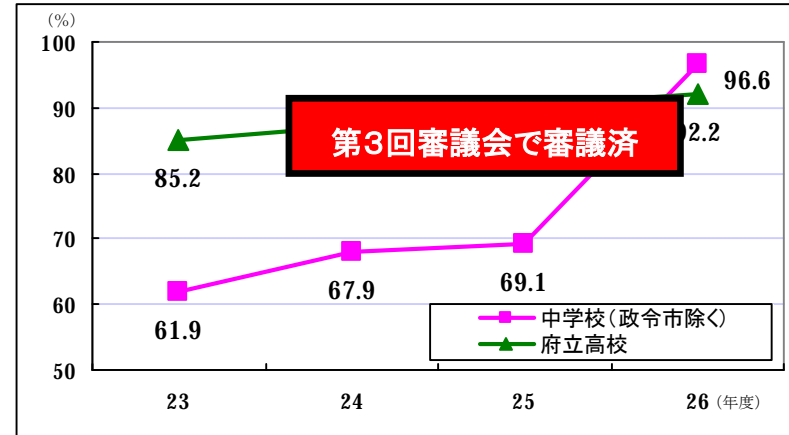
(参考)

- ◆指標 55 学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動によく参加してくれると回答している学校の割合



H23年 府調査
(政令市を除く府域41市町村での悉皆調査)
H24年 国調査 (政令市を含む抽出調査)
H25~27年 国調査 (政令市を含む悉皆調査)

- ◆指標 57 授業で生徒に対する親学習を実施した学校数の割合



※府教育委員会調べ
※調査はH23年度から実施